



病院には どんな仕事があるのかな？

病院は、病める人を社会復帰させることを目的とし、医師をはじめとする多くの職員の連携と協力による「チーム医療」に取り組んでいます。病院の中には、さまざまな業務があります。

医局・看護部・薬剤部・検査科・栄養管理室・放射線科・リハビリテーション科・臨床工学科・事務部・地域連携室などで働いている専門職種がチーム組んで、それぞれの専門分野での経験や知識、技術を集約して、患者さんに最も適した最新の治療にあたっています。

また、適切なアドバイスや必要な情報提供を行って早期社会復帰への手助けをしています。

FILE: 04 臨床検査科 Clinical Laboratory Department

働いている方に
INTERVIEW

臨床検査の仕事について

～ 臨床検査科・小杉さんに聞いてみた～

臨床検査技師を目指した理由

私は幼い頃病院に通う事が多く、いつも白衣を着て検査をくださる病院スタッフの方に憧れていました。何の職種だろうと調べたところ臨床検査技師を知りました。

臨床検査技師は患者さんの病気の診断や治療に不可欠な「検査」のプロフェッショナルであり、その仕事に魅力とやりがいを感じたため志すようになりました。

業務内容は？

臨床検査技師の仕事は「検体検査」と「生理機能検査」の大きく2つに分けられます。それぞれの検査を簡単にご紹介します。

〈検体検査〉

患者さんから採取された検体を用いて行う検査です。

①血液検査

血液中の赤血球・白血球・血小板の数を測定したり、骨髄中に異常細胞がないかを調べます。

②生化学・免疫検査

血液中の糖、蛋白、酵素などを測定することにより臓器の働きが正常かどうかを調べます。また血液を用いて肝炎や梅毒などの感染症、腫瘍マーカーなどを調べます。

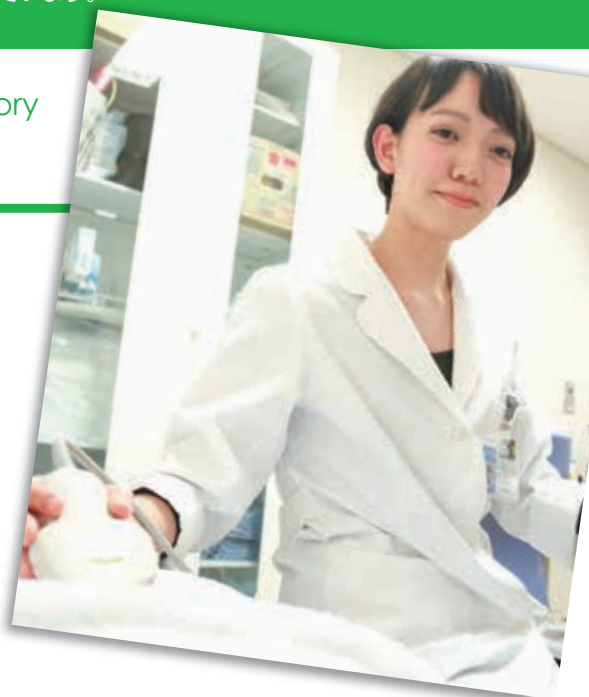
③一般検査

尿中の蛋白や糖などの値に異常がないか調べます。尿中の細胞を顕微鏡で観察することもあります。その他に髄液検査や便潜血検査、寄生虫検査などがあります。

④細菌検査

病気の原因となる細菌を特定し、効果的な薬剤を調べています。

臨床検査科
小杉 晴香
(6年目)



⑤輸血検査

血液型の判定や輸血をする血液が患者さんに適合するかどうかを調べます。

⑥病理検査

採取された組織や細胞を用いて標本作製し、顕微鏡を用いて癌などの異常細胞がないかどうかを調べます。

〈生理機能検査〉

患者さんに直接行う検査です。心電図検査、肺機能検査、超音波検査、脳波検査、ABI検査、聴力検査などを行っています。

目標・やりがい

私は生理機能検査を担当し、主に腹部超音波検査に携わっています。腹部超音波検査はエコー装置を用いて肝臓・脾臓・胆嚢などの臓器に腫瘍や異常がないかを調べています。超音波検査はリアルタイムで行う画像検査であり、検査者が患者さんの病態や鑑別にあがる疾患を考えながら検査を進めていかなければなりません。疾患の知識はもとより、きれいな画像描出する技術や超音波画像を読む能力が要求されます。私の行った検査が疾患の早期発見や診断に繋がる事もあり、責任とやりがいを感じています。現在さらなるスキルアップのため超音波検査士という認定資格取得を目指しています。より専門的な知識と技術の習得に努め、患者さんや医療スタッフから信頼される臨床検査技師になりたいです。